

ほすびたる

No.720

平成30年 1月 20日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

新年の挨拶	年頭のごあいさつ	福岡県知事 小川 洋	①
	新年のご挨拶	公益社団法人福岡県医師会 会長 松田峻一良	②
	新年のご挨拶	公益社団法人福岡県病院協会 会長 石橋 達朗	③
新 人 物	シーサイド病院院長 就任のご挨拶	医療法人永寿会シーサイド病院 院長 山本 雄正	⑥
病院管理	地域医療構想における九州大学病院 の役割と連携医療機関登録制度	九州大学病院医療連携センター センター長 水元 一博	⑦
	スポーツ医として Rugby World Cup 2019に向けて	筑後市立病院 整形外科長 井上 貴司	⑨
看護の窓	人財育成に繋がる QC サークル活動	公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院 看護部長 宇都宮信子	⑪
	安全な医療を提供するために チーム力を高めよう	福岡市立こども病院 医療安全管理室 副室長 吉富ゆかり	⑭
Letter	イヌ、犬、戌、 そして江戸歌留多	学校法人原学園原看護専門学校 学校長 国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔 元則	⑯
Essay	鐘・鐘・鐘	元医療法人誠十字病院 平衡神経科 医師 安田 宏一	⑱
	人体旅行記 宰丸（その一）	国立病院機構九州医療センター 医療情報管理センター 部長 吉住 秀之	⑲
■福岡県私設病院協会	平成 29 年 12 月福岡県私設病院協会の動き		⑳
■福精協の広場	「診察室の中で年をとる」	医療法人慈光会若久病院 院長 野見山 晃	㉑
■福岡県病院協会だより			㉓
■編集後記		岡嶋泰一郎	㉕

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生方向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテンのリース洗濯 患者私物衣類の洗濯

☆寝具・カーテン・看護衣・診察台カバー・タオル・紙おむつ・レセプト用紙
介護用品等の販売、ベッドマットリース・販売、給食材料・給食依託業者・
重油等の斡旋及び各種保険の取扱いもしております。

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

Clean & Comfortable



理事長 江 頭 啓 介

専務理事	佐田 正之	理 事	津留 英智
理 事	原 寛	監 事	杉 健三
理 事	陣内 重三	監 事	松村 順
理 事	牟田 和男	事務局長	日比生英一

〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田 1217-17
TEL 092-976-0500 / FAX 092-976-2247

年頭のごあいさつ

福岡県知事

小川 洋



新年あけましておめでとうございます。公益社団法人福岡県病院協会の皆さまにおかれましては、晴れやかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

皆さまには、日ごろより県民の健康の増進と地域医療の確保にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

県の経済は緩やかに拡大しつつあり、有効求人倍率は過去最高を記録しました。

また、『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』の世界遺産登録、「全国豊かな海づくり大会」の開催により、歴史、伝統、文化をはじめ、特色ある水産業とその水産物など本県の魅力と元気の良さを内外に発信できました。

一方、昨年7月に発生した九州北部豪雨により、朝倉市、東峰村を中心に甚大な被害に見舞われました。県では、発災直後から、人命救助などの応急対応、被災地の皆さまの生活再建支援、道路、河川、農地などの復旧に全力で取り組んできました。

医療関係者の皆さまにおかれましては、DMATやJMATの派遣をはじめ、それぞれのお立場から被災地に向けた積極的な支援を展開していただきました。皆さまのご尽力に改めて敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

今年は、まず何より、被災地の復旧・復興に全力で取り組んでまいります。

県では、団塊の世代の方々が全て75歳以上となる2025年に向け、あるべき医療提供体制の姿を明らかにするとともに、その実現に必要な施策を示した「地域医療構想」を昨年3月に策定し、これに基づき、県内の全ての医療圏に設置した地域医療構想調整会議において、医療機能の分化・連携などに係る本格的な議論がスタートしました。

また、本年3月の次期保健医療計画の策定に向け、5疾病・5事業および在宅医療などに係る医療提供体制の構築について、医療審議会をはじめとした各協議会などにおきまして活発なご議論をいただいているところです。

貴会におかれましては、医療審議会や各区域における地域医療構想調整会議などを通じて貴重なご意見をいただきましたこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

県としましては、県民の皆さまがいつでも、どこでも、安心して必要な医療サービスを受けることができる医療提供体制の構築に向け、地域医療構想の実現、そして、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでまいります。本年も引き続き、石橋会長のもと、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年が貴会ならびに会員の皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう、心からお祈りいたします。

新年のご挨拶

公益社団法人福岡県医師会

会長 松田 峻一良



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年、福岡県医師会は創立 70 周年を迎え、日本医師会横倉義武会長がアジア大洋州医師会連合会長、世界医師会会長にご就任されるという慶事が続き、感謝と決意をあらたにした 1 年となりました。

県内では、7 月に九州北部豪雨により甚大な被害が発生し、医療機関の皆様には多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。熊本地震の教訓を生かした「福岡県医師会災害医療プログラム（カテゴリーⅡ）」を活用しながら、今後も、災害の状況に即した体制を早期に構築し、必要な支援を速やかに行っていけるように、救急災害医療に取り組んでいきたいと考えております。

また、県内全域で展開しております「福岡県医師会診療情報ネットワーク（とびうめネット）」では、災害等に遭った場合、速やかに診療を再開するために、会員医療機関のレセプトデータのバックアップを無料で行っております。現在、民間事業者がレセプトデータや電子カルテデータを製薬会社等に販売したり、これらのデータを利用した個人向けの健康事業等を始めている中、医療に関する情報は、その性質から医療者自らが保管し、守り、利活用することが大前提であると考えておりますので、是非、とびうめネットの活用をお願いします。

地域医療構想につきましては、各構想区域での地域医療構想調整会議において病床の機能分化・連携の推進に向けた協議が始まっております。調整会議での協議に当たって、入院基本料の届出や病院の開設等の申請を行おうとする医療機関は、事前に県に相談するよう、九州厚生局長並び

に保健所長等に対して協力依頼を行っておりますので、これにより、適切な協議が行われる前提が担保されたものと考えております。今後の調整会議では、各医療機関が地域の実情と自施設の役割を踏まえた上で自主的に機能選択を行うことを可能にする議論が重要であり、調整会議の議長は地域医療全体を俯瞰できる立場から、その調整役として率直な意見交換が行われるよう促していただくとともに、各調整会議において地域の実情に応じた取り決めを是非作っていただきたいと思っております。

次期診療報酬改定は、本体プラス 0.55% で決着が着きました。薬価引き下げ分の財源を睨み、日本医師会横倉会長の大変なご苦勞があったものと思います。しかし、本来は、これからの日本の医療をどういう型にするのか、それを実現するための必要な財源をどうするのかという議論こそ重要であり、診療報酬改定の度に、もどかしく寂しい気持ちになるのもまた事実であります。

「社会的共通資本」である「医療」は、様々な課題を抱えながら、今後どのように変遷していくのでしょうか。我々はこれまで、医療の専門家集団として、地域医療を守り、国民の医療・福祉の充実と向上に努力を重ねてまいりました。「社会保障の充実」という私共の信念と使命感は、どのような局面を迎えようとも、揺るぐものではありません。

本年は、日本医師会の役員改選の年となります。既に、福岡県医師会、九州医師会連合会は、横倉会長へ次期会長選挙への立候補を要請させていただきました。

引き続き、皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶

公益社団法人福岡県病院協会

会長 石橋 達朗



新年おめでとうございます。今年が皆様にとって良い年でありますことをお祈り申し上げます。

昨年の九州北部豪雨により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興により、日々の日常を取り戻されることをお祈り申し上げます。この度の被災地支援のため、福岡県医師会をはじめ多くの医療機関の皆様には多大なご尽力をいただきました。関係機関の皆様の協力に感謝申し上げます。九州大学病院からも医師や歯科医師などを派遣し、被災地の支援にあたらせていただきました。これらの支援が被災された方々のお力に少しでもなれたらと思っております。また福岡県病院協会においては、一昨年の熊本地震、そして今回の九州北部豪雨での経験を踏まえ、今後起こり得る災害に対する備えを、福岡県及び福岡県医師会との具体的な協力体制づくりの中で進めていきたいと考えております。

昨年一年を振り返りますと、医療機関を巡って、さまざまな新しい動きがありました。まず、昨年3月、福岡県医療構想が策定され、2025年の医療需要と病床の必要量の推計に基づく医療体制と対応策が整理されました。この構想の実現のため、福岡県病院協会関係者も参画する地域医療構想調整会議が設置され、協議が開始されました。この会議の審議内容については、会員の皆様と情報共有をしてまいります。

次に昨年3月に政府の方針として、働き方改革実行計画が決定され、上限のない長時間労働の見直しのための労働基準法改正が行なわれることになります。医師については、応召義務などの特殊性を踏まえ、時間外労働規制の対象とされた上で、具体的な上限時間などの規制のあり方についてさらに検討が行われ、労働基準法改正の施行期日の5年後を目途に規制が適用されることになります。この検討のため、昨年8月から厚生労働省において「医師の働き方改革に関する検討会」が

開催され、来年3月に報告書がまとめられることになっています。

また昨年4月には臨床研究法が公布され、今年4月までには施行されることになりました。本法は我が国の臨床研究に対する信頼性の低下が社会問題となるなか、臨床研究に対する信頼の確保を図ることを通じて、その実施を推進し、保健衛生の向上に寄与することを目的として制定されました。会員各機関におかれましても、法の遵守についてご留意くださいますようお願いいたします。

今年は、診療報酬及び介護報酬の同時改定が行なわれます。診療報酬本体はプラス0.55%、薬価等はマイナス1.74%、全体でマイナス1.19%、介護報酬はプラス0.54%になることが公表されました。来年度の消費税の増税を踏まえて、その影響を注視していく必要があると考えています。

また4月から新専門医制度がスタートします。日本専門医機構は5都府県（東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県）への専攻医の集中を防ぐために、外科、産婦人科、病理、臨床検査、総合診療を除く14の領域では、過去5年間の平均採用実績数を専攻医採用の上限とすることを決定しています。そのため福岡県では、眼科と泌尿器科でその上限数を超えたために、専攻医の他県への移行を余儀なくされています。新専門医制度の実施に関しても、福岡県の実情も踏まえて対応を検討していく必要があると考えています。

医療機関を巡る状況については、協会として会員の皆様に、その詳細をいち早くお伝えできるよう、連携を強めていきたいと思っております。福岡県病院協会会長としての私の任期は3月末で終了いたしますが、残りの任期を全うできるように努力したいと考えています。4月からの新体制においても、これまで以上のご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

謹賀新年

公益社団法人 福岡県病院協会役員一同

役職名	氏名	病院名及び役職
会長	石橋達朗	九州大学病院 病院長
副会長	志波直人	久留米大学病院 病院長
〃	尾辻豊	産業医科大学病院 病院長
〃	井上亨	福岡大学病院 病院長
〃	竹中賢治	福岡市立病院機構 福岡市民病院 院長
専務理事	平祐二	医療法人 原三信病院 理事長兼院長
総務理事	上野道雄	国立病院機構 福岡東医療センター 名誉院長
財務理事	澄井俊彦	国立病院機構 小倉医療センター 院長
企画理事	壁村哲平	福岡市医師会成人病センター 院長
理事	安藤文英	医療法人 西福岡病院 理事長
〃	飯田三雄	公立学校共済組合 九州中央病院 病院長
〃	一宮仁	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 院長
〃	江頭啓介	医療法人社団江頭会 さくら病院 理事長兼院長
〃	岡留健一郎	済生会福岡医療福祉センター 総長
〃	大塚毅	宗像医師会病院 院長
〃	小嶋享二	福岡県立精神医療センター 太宰府病院 院長
〃	小柳左門	社会医療法人 原土井病院 病院長
〃	島弘志	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 病院長
〃	津留英智	医療法人社団水光会 宗像水光会総合病院 理事長
〃	寺坂禮治	福岡赤十字病院 院長
〃	深堀元文	医療法人社団益豊会 今宿病院 理事長兼院長
〃	増本陽秀	飯塚病院 院長
〃	村中光	国立病院機構 九州医療センター 院長
〃	吉田正	地方独立行政法人 筑後市立病院 理事長兼院長
〃	吉村恭幸	一般社団法人 福岡県社会保険医療協会 会長
監事	津田泰夫	福岡通信病院 院長
〃	原寿郎	福岡市立病院機構 福岡市立こども病院 院長
議長	岡嶋泰一郎	社会保険仲原病院 院長
副議長	梅野守男	早良病院 院長
顧問	今泉暢登志	医療法人済世会 河野病院 院長
〃	河野正美	医療法人済世会 河野病院 理事長
〃	瓦林達比古	公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団 理事長
〃	久保千春	九州大学 総長（福岡県病院協会前会長）
〃	八木博司	医療法人八木厚生会 八木病院 理事長兼院長

（平成30年1月1日現在：五十音順）

会員名簿変更のお知らせ

◎福岡県病院協会事務局

会員名簿 ページ	施設名称	項目	変更内容
3	福岡整形外科病院	管理者	吉本 隆昌
4	福岡記念病院	管理者	黒田 康夫
		病院代表者	理事長 黒田 康夫（会員）
		診療科目	肝臓内科、肝臓外科、脊椎・脊髄外科（追加）
5	疋田病院	管理者	宮崎 宏之
		診療科目	神経科（削除）
5	国家公務員共済組合連合会 千早病院	病床数	一般 180、計 180
5	福岡和白病院	病床数	一般 369、計 369
		診療科目	腫瘍内科、産婦人科、小児科、精神科（追加）
		備考	地域（追加）
6	今津赤十字病院	病床数	療養 30、うち介護分 15
6	シーサイド病院	管理者	山本 雄正
		診療科目	歯科（追加）
8	福岡県済生会二日市病院	診療科目	小児科、美容外科（削除）、血管外科（追加）
8	医療法人鵬志会別府病院	開設年月日	平28.5.1（譲渡）
9	北九州古賀病院	病床数	一般 120、療養 381、うち介護分 180、 精神 93、計 594
11	福岡新水巻病院	病床数	一般 227、計 227
		診療科目	児童精神科、精神科（追加）
11	飯塚記念病院	病院代表者	理事長 豊永武一郎（会員）
		診療科目	内科、腎臓内科、消化器内科、整形外科（追加）
12	社会保険稲築病院	管理者	定村 伸吾
13	地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院	病床数	一般 132、結核 30、計 162
13	社会福祉法人柏芳会田川新生病院	病床数	一般 30、療養 60、計 90
19	JR九州病院	病床数	一般 158、療養 78、計 236
		診療科目	血管内科（削除）、血液内科、糖尿病内科、 呼吸器内科（追加）
22	医療法人社団黒崎整形外科病院	病院代表者	理事長 安永 博（会員）
		管理者	白石 浩一
22	戸畑総合病院	病院代表者	名誉院長 本村 良次（会員）
		管理者	齋藤 和義
		診療科目	肝臓科、糖尿病内科、リウマチ・膠原病内科、 神経内科、乳腺外科、心臓血管外科、放射線科、 美容外来、漢方外来（追加）
		病床数	一般 193、計 193

（平成 30 年 1 月現在）

シーサイド病院院長就任の ご挨拶

医療法人永寿会
シーサイド病院

院長 山本 雄正



平成 29 年 12 月 1 日付で医療法人永寿会シーサイド病院院長に就任しました山本雄正です。宜しくお願い致します。

私は昭和 47 年に九州大学を卒業し第一内科に入局しました。血液学や基礎で免疫学を学び、カナダのオンタリオ癌研究所ではフレンドウイルスと呼ばれるマウスの白血病遺伝子のクローニングの仕事をしました。帰国後は熊本大学で免疫生化学の仕事をしていたのですが、40 歳を過ぎてからは、千早病院や北九州の JR 九州病院に勤務してきました。60 歳を過ぎてからは、慢性期医療に携わり、最近まで福西会南病院に勤務していました。シーサイド病院には 2 度目の入職ですか、坂本英彦先生がご高齢で退任いたしましたので院長職を引き継ぎました。

さて、医療法人永寿会は川添勇先生により創立されて 50 年以上になります。本部は東京都八王子にあり恩方病院(470 床)や陵北病院(411 床)など、福岡においてシーサイド病院(413 床)や川添記念病院(310 床)などを運営しています。シーサイド病院は、創立者の川添勇先生が、高齢化する日本社会の将来に向かって、郷里の九州に高齢者のための病院として昭和 53 年開設されました。

シーサイド病院の病床内訳は医療療養 180 床、介護療養 233 床からなります。また、在宅サービスとして居宅介護支援事業、通所リハビリテーション、認知症高齢者グループホームを併設しています。理念として「人間の尊厳と患者さんの立場にたった医療と介護」を提供することで、利用者・ご家族の皆様に信頼していただける病院をめざしています。

当院は入院医療・介護が主体ですので、医療区分 2 あるいは 3 の患者様が医療療養病棟の大半を占め、介護療養病棟では要介護 4 あるいは 5 の患者様が殆どです。急性期病院からの受け入れをこれまで以上に積極的に行い連携がスムーズにいくように心掛けています。また、当院は福岡市西区に位置しており海岸を見渡せる景色のよい場所に位置しており、建物自体は少々古くなっていますが、広い居室面積、広い廊下幅であり、良好な療養環境を提供しています。福岡市そして糸島市からは勿論、最近では佐賀県などの遠隔地からも入院があります。地域連携室を通じて積極的に患者様を受けいれています。高齢化社会において当院の果たす役割は大きいと考えています。今後とも宜しくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



地域医療構想における九州大学病院の役割と連携医療機関登録制度

九州大学病院医療連携センター
センター長 水元 一博

団塊の世代が75歳以上となり人口の高齢化がピークを迎える2025年に向けて、病床の機能分化と連携を進める地域医療構想の実現化プロセスが徐々に明らかになってきた。医療機関が都道府県に報告する4つ病床機能のうち、急性期病床を約3割縮減し、回復期病床を約3倍に拡充することなどを目指して地域医療構想会議が都道府県或いは2次医療圏単位で動き始めている。平成29年9月には公的医療機関等2025プランの策定が行われ、九州大学病院は福岡・糸島医療圏における自らの役割を報告した。この医療圏では、高度急性期病床が1518床過剰になると想定されているが、当院が2次医療圏外の県全域あるいは九州全域から高度急性期医療の対象患者を数多く受け入れている現状があり、今後もこの傾向は続く見通しであることから、現時点では2025年においても本院の1182床全てを高度急性期病床として運営する方針であることを報告した（図1）。

2025年に向けて本院では、急性期、回復期、慢性期の医療機関との連携推進が喫緊の課題となっている。この課題に対応するために、本院は新たに2つの地域連携機能（前方連携と後方連携）の強化を進めている。前方連携の強化のために、予約センターでは一般患者の当院への予約受付を原則として行わず、一方で一般医療機関からの紹介患者を迅速に受け入れる体制を整備した。紹介元医療機関には予約時に診療情報提供書のFAX送信を依頼しているが、これは患者の受け入れを迅速かつ的確行うために必要な業務負担であることの御理解をお願いしている。

一方、後方連携の強化策は、医療連携センター退院支援部門の人員を増員して全病棟に配置したことであり、入院時から全患者を対象にした退院支援スクリーニングを開始した。ついで、病棟における退院支援合同カンファレンスで退院支援が必要な患者を早期に抽出し、可及的速やかに支援を開始できる体制を構築している。この前方連携・後方連携の2つシステムが稼働し始めたことを1つの要因として、病床稼働率は明らかに向上し、加えて平均在院日数の短縮も図られつつある。更に加えて、高度急性期医療の患者受け入れと退院支援が強化された結果、必然的に重症度、医療・看護必要度（以降、看護必要度）も高く維持されている。地域医療構想を実現するための中核部分は7対1看護体制（看護必要度）の厳格化による高度急性期病床・急性期病床の削減にあり、本院で病床稼働率が高いまま看護必要度も高く維持されていることは、高度急性期病床を担う

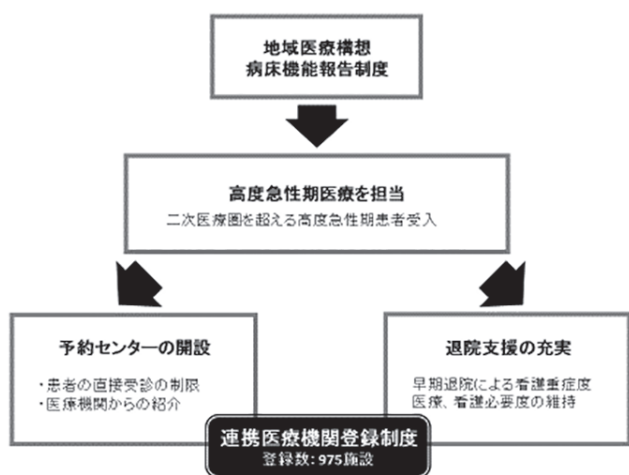


図1 地域医療構想と九州大学病院の役割

べき医療機関としての適格性を示す明確な指標の1つでもある。

連携医療機関登録制度（図2）は、地域医療構想に対応するために強化された前方連携と後方連携を支援する基本システムとして構築した。九州大学病院との連携実績のある病院に対し、ホーム

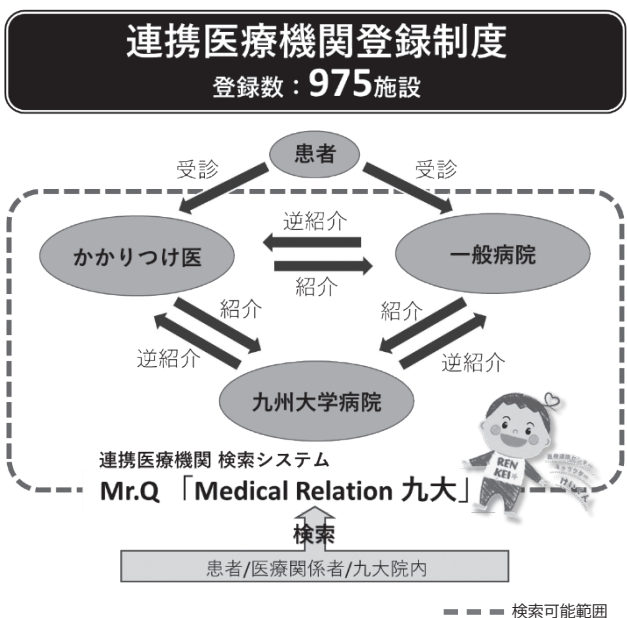


図2 九州大学病院の連携医療機関登録制度と検索サイト Mr.Q

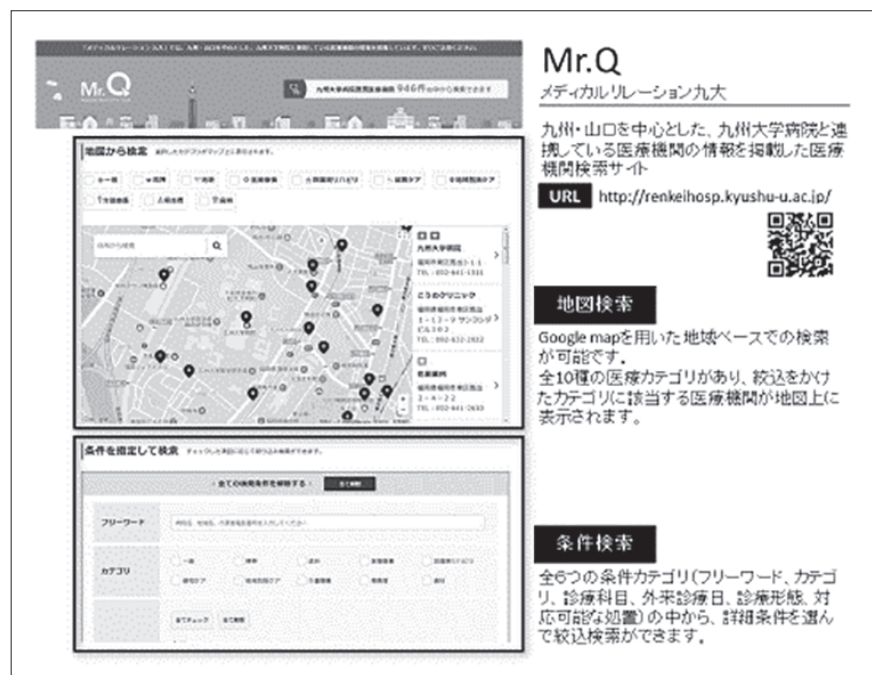


図3 連携医療機関検索サイト Mr.Q

ページ等への情報公開を前提として連携医療機関になって頂くことを提案し、ご了解頂いた975件の医療機関に対し、連携医療機関登録証を交付させて頂いた。連携医療機関登録制度は既に多くの医療機関で実施されているが、今回の特色として、前方・後方の2つの連携機能活性化を目的に、医療機関の診療機能情報を簡単に検索できるサイト「Medical Relation 九大（メディカルリレーション九大）」（略称；MR.Q）を構築し平成29年12月に公開した。（図3）

当院のホームページは、高度急性期医療が必要な患者に対し最新の医療情報や当院への受診方法など詳細に紹介し、更に機能改善へ向けた作業を行っている。患者は、ホームページから当院の最新診療情報を得るとともに、MR.Q（ミスターQ）によって居住区域内の本院連携医療登録機関の診療機能を簡便に検索できる。患者は、自らが必要とする診療機能を検索し、当院の連携医療機関を受診することにより適格な初期対応を受けることが可能で、高度急性期医療の必要性がある場合は速やかに当院を紹介・受診することができる。また、MR.Qは、本院の医師が、患者の居住区域内で回復期医療を委ねる医療機関を迅速に検索することが可能であり、診療機能ごとに本院の医師と連携医療機関とのコミュニケーションが深化することも期待される。

2025年の地域医療構想において高度急性期医療を担う本院が、その機能を十分に果たすために連携医療機関登録制度を整備し、インターネット検索システムを新たに構築した。今後は、地域医療機関との連携の実績を更に集積し、MR.Qの情報の質と量を高めていく必要がある。

スポーツ医として Rugby World Cup 2019に向けて

筑後市立病院
整形外科長 井上 貴司

当院就任時より病院のご理解とサポート頂きスポーツ医として活動を行ってまいりました。整形外科外来でスポーツ外傷、障害を担当するのみではなく、ラグビーの現場に出向き大会、試合の Match Day Doctor (MDD) や、ラグビー日本代表チームの Team Doctor として帯同活動を行ってきました。また九州ラグビーフットボール協会、メディカル事務局としても業務を行っております。2019年には Rugby World Cup (RWC) が日本で開催され、九州でも福岡、大分、熊本が本会場として決定しました。現在着々と大会に向けての準備が行われておりますが、今回は医療体制に関する現状と課題に関して報告させていただきます。

RWC

4年に1回行われる世界大会で、観客動員数ではオリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ世界3番目の規模の国際イベント。2019RWCには全世界より予選を勝ち抜いた20カ国、地域が来日し北海道から九州までの12都市で全48試合が行われる。参加チームは大会に先立ちキャンプ（事前キャンプ、公認キャンプ）を行う。医療部門としては大会期間中のみならず、キャンプも含めて医療サポートを行う必要がある。

医療体制

試合会場及び試合当日の医療スタッフに関し

ては、WORLD RUGBY (WR) が定めた国際基準、Immediate care in rugby (ICIR) の Level 2 もしくは Level 3 が必要であり、九州各地域においても有資格者が増加傾向である。しかし試合時における対応に関してはまだまだ改善の必要がある。特にTVモニターを用いて脳震盪の疑いのある選手の一時交代制度である Head Injury Assessment (HIA) や重傷事故発症時の担架搬送などは国内のラグビーリーグでも実践導入され、今後さらなる医療スタッフのレバルアップが期待される。

また、スタジアム内の観客対応、試合会場、キャンプ地におけるメディカルキッドの準備、試合、キャンプ時の後方支援病院の選定、海外のチーム専属となり医療サポートをコーディネートするリエゾンドクターの選定、ドーピングコントロールなども医療サポートに含まれる。

今後の課題

現在九州ラグビーフットボール協会を中心に各開催県協会と連携し、九州管轄内で行われる国際試合において本番を意識した運営及び経験を共有し向上することを目的に活動を行っている。通常の国内試合との違い、試合日以外において世界各国より応援にきた観光客対応、出場国関係者のVIPへの医療対応、保険問題、海外チームの医療物品管理、医療廃棄物の廃棄処理などクリアしなければならない課題も多い。またWRからの要求である救急車の常駐や、医療スタッフにおいて

も整形外科のみではなく、内科、救急診療科、眼科、耳鼻科、口腔外科、形成外科など幅広い対応が求められている。

最後に

2019RWC 日本大会組織委員会は大会のキャッ

チコピーを『4年に一度じゃない、一生に一度だ。- ONCE IN A LIFETIME -』に決定しました。

先に挙げた課題や今後見えてくる新しい問題に対応しながら、出場選手のみではなく、大会に参加した全ての方に最高の大会であったと思っていただけるよう残り1年9ヶ月、最善を尽くしていきたいと思います。



前列左から2人目が筆者

「安心・安全・清潔」 未来を見つめて...



太陽セランドグループ

太陽セランドホールディングス株式会社

〒812-0044 福岡市博多区千代 1-1-5 TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社

〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200 TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 中島 健介



医療関連
サービスマーク認定

事業内容：医療介護福祉の総合提案企業

- 医療機関等への寝具・病衣・白衣等のリース及び洗濯
- メンテナンス付マットレスのリース・レンタル
- 衣類(私物)の洗濯
- 紙オムツの販売及び大人用布おむつのリース及び洗濯
- タオル・オシボリのリース及び販売
- 産業廃棄物の収集運搬
- 病院用ベッド及び医療家具のリース及び販売
- テレビ・ランドリーのリース及び販売

太陽セランドグループ会社

太陽シルバースサービス株式会社	〒838-0814 福岡県朝倉郡筑前町高田 585-1	TEL:0946-21-4700 FAX:0946-21-4701
ジャパンエアマツ株式会社	〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代 1-1-5	TEL:092-641-5085 FAX:0946-21-4701
太陽ホテルリネン株式会社	〒812-0063 福岡県福岡市東区原田 4-17-25	TEL:092-624-1321 FAX:092-624-1323
株式会社メディカルナビゲーション	〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代 1-1-5	TEL:092-651-0700 FAX:092-641-2672
株式会社セランド	〒802-0979 福岡県北九州市小倉南区徳力新町 1-25-22	TEL:093-961-0581 FAX:093-961-0009
株式会社北九州シーアイシー研究所	〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200	TEL:0947-46-2029 FAX:0947-46-2101
株式会社おたふく屋	〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200	TEL:0947-42-3215 FAX:0947-42-3217
株式会社サンウエックス	〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200	TEL:0947-46-1508 FAX:0947-42-5445

看護 の窓

人財育成に繋がるQCサークル活動

公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院 看護部長 宇都宮 信子

病院紹介

当院は、181床（一般病床136床、地域包括ケア病床45床）の11診療科を標榜する公益財団法人の一般・急性期型病院です。設立以来50数年、地域密着型医療に取り組んできました。

当院の置かれた医療環境として、半径2km圏内には大規模病院から中小病院まで多数の病院が林立している医療激戦区にあり、生き残りをかけて、病院の特徴を出す目標を掲げ、活動することが必要でした。その為に、医療の質の向上と共に患者サービスの視点を捉えて、産業界では一般的であるが、医療界では根付かないと言われたQCサークル活動に着目し、活動を開始しました。

「私が病院長でいるかぎり QCサークル活動はやめない」「右手に専門書、左手にQCテキストを持って」という病院長の強い信念のもと、年2回のQCサークル活動発表大会を継続して行い、昨年、第50回・25周年記念大会を盛会裏に終えました。「患者様本位の医療サービスを提供します」という病院理念の具現化に向けて策定された基本方針の実施の為に、25年間職員全員で取り組んできた当院のQCサークル活動について、主に看護部を中心に紹介させていただきます。



三萩野病院QCサークル25周年記念祝賀パーティー

QCサークル活動の導入背景

1991年にQCサークル活動のキックオフ宣言を行い、本格的にQCサークル活動を開始しました。それ以前の当院は経営の危機に立たされ、病院再建のために業務改善委員会を立ち上げ、各部署の業務の見直し・改善など多くの課題に取り組みました。業績は次第に改善され、経営の危機を乗り越えることは出来ましたが、職員（特に看護職員）の離職率は高く、コミュニケーションが上手くいかずに辞めていく人が多くいました。その頃、病院長がQCサークル活動を知り、『病院TQC導入と推進』（福島繁著 1985年産業労働調査所グループ）という病院の活性化に向けて参考になる単行本にめぐり会いました。職場のコミュニケーションを良くすると共に、業務改善にも有効であることが分かり、病院にQCサークル活動を導入しました。

QCサークル活動からTQMへ

病院経営をめぐる環境が従来にも増して急速かつ多様に変化している中、医療機関は自院の現状分析・目標設定・戦略などを通して患者のニーズに合うような自己変革が求められています。前述したように医療激戦区にある当院のような中規模病院は、医療機能の分化を促進する観点から、大規模病院とは異なる役割が期待され、患者に選んでもらう為には何か特徴を持たなければなりません。QCサークル活動を行うことにより全職員の意思の統一が図られ、業務の改善・効率化を遂行して来ましたが、病院の活動としては、医療水準の高さを求めるばかり

でなく、患者にとって満足できる医療サービスを提供することも重要です。そこで、病院活動と QC サークル活動との結びつきを強化するために、1999 年に QC サークル活動を包含する TQM へと発展させる事が必要でした。

QCサークル活動の推進体制と看護部の人材育成

1) 「提案箱」の設置

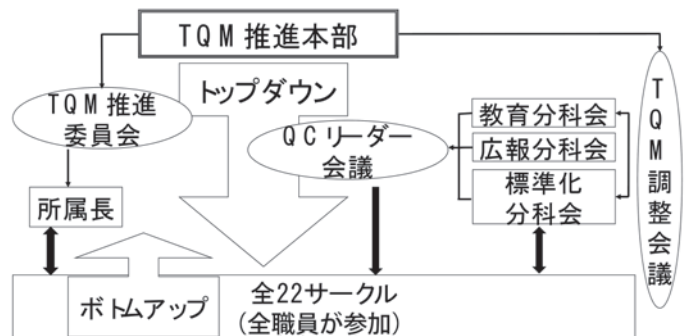
日常的に業務に対して問題意識・改善意識を持つことが出来るように全部署に「提案箱」を設置し、各自が業務中に気付いた問題点・改善点をメモ書きにして入れることを促しています。このメモ書きが QC サークル活動の中で最も重要となるテーマ選定に繋がっていきます。

問題意識・改善意識を持つことは、看護過程においても重要なことで、より質の高い看護を提供するためには、“あるべき姿（質の高い看護）”と“現状(実際の看護)”との間にあるギャップ(=問題)を見つけ出さなければなりません。

「提案箱」の設置により、どんなに小さな問題に対しても見過ごすことなく、問題点を改善点として捉えることが習慣化しています。3・4 年目の看護師が業務の中で問題として捉えた事例で、点滴スタンドが、ベッド周囲のカーテン上部のメッシュの部分（消防法による規定）に引っ掛かり、患者が必死に外そうとしている姿を見て、危険であると問題意識を持ち、QC サークル活動で取り組みました。結果として、平成 21 年度 看護のアイデア de 賞でグランプリを受賞しました。平成 27 年度には、車椅子使用中の患者がすぐに看護師を呼ぶことができずに困っている姿を見て、QC サークル活動で改善を行い、看護のアイデア de 賞でハッピー賞を受賞し、後に商品化されました。日常的に問題意識・改善意識を持つことで、ベテラン看護師だけでなく全ての看護師に問題点として捉える力が必然的に備わってきます。

2) 強力な推進体制

「TQM 推進本部」の下に QC サークル活動推進に必要な分科会（教育分科会・標準化分科会・広報分科会）を設置し、各分科会の幹事を中心に 7～9 名の委員が推進役として活動しています。教育分科会は、QC 上級指導士 2 名（看護師長 2 名）、QC 指導士 6 名（内、看護師 2 名）で編成され、QC サークルリーダー等に対する講義や基礎研修会などの開催を実施し、各サークルに対する指導や活動の支援、活動状況の管理を行っています。標準化分科会は、改善活動後の標準化・継続を促進する活動及び水平展開の推進などを行っています。広報分科会は、院内発表大会・パソコン勉強会などの行事開催の企画、QC 掲示板管理などを行っています。各分科会による強力な推進体制があったからこそ、25 年間 QC サークル活動が継続できたといっても過言ではありません。



TQM 推進体制は、患者志向—患者満足の実現、職員志向—職員満足の実現を通じて、長期的・継続的な病院の発展を目指しています。看護師長等の中間管理者が、組織の一員として質の良い医療・看護を安定して提供できる職場風土改革に取り組んでいかなければならないため、各分科会に看護師長・主任・副主任を配属しました。教育分科会には QC 上級指導士 2 名と QC 指導士 2 名を委員とし、標準化分科会及び広報分科会には幹事として看護師長を配置しています。看護における業務改善を看護部全体で取り組む時には、看護師長・主任・副主任から構成される三者会会議で話し合いますが、三者会メンバーの殆どが TQM 推進体制に配属さ

れているため、同じ方向性・目的を持って話し合いが行われます。特に、業務の標準化においては QC サークル活動での取り組みを水平展開していることから、部署のローカルルールはなく、看護部全体で統一が図れています。

3) QC サークル活動教育・新人教育

QC サークル活動の推進にとって最も重要なことは QC サークル教育で、病院自前の「QC テキスト」を作成し、全職員に配布して自己学習を勧めています。



毎月開催される QC リーダー会議においては、QC ステップに沿って教育分科会がわかり易い講義を行っています。その他、1～3 年目職員対象の基礎教育研修会、中堅職員対象のステップアップ研修会、主任・副主任を対象としたリーダー研修会など、QC サークル活動教育を積極的に行っています。特に、新人教育には注力し、オリエンテーションの中に組み込んで、半日かけて徹底した QC サークル活動導入教育を実施しています。

看護部のリーダー教育の中にも「問題解決力の向上」を目的に、QC 上級指導士を中心として教育を実施しています。「問題解決力」というと抵抗感がある看護師もいますが、「問題を見出す→現状を把握する→原因を明らかにする→解決策を立案する→実行する→結果を評価する→成果を共有する」という一連の流れは、QC サークル活動を行う中で自然と身につけていることです。新人看護師迄もが問題解決に必要な PDCA サイクルを回すことを日常的に行っています。そして、QC 上級指導士の活動の場は、

院内教育だけでなく、院外でも出張講義等に積極的に関わっています。



4) 外部改善事例発表大会への積極的参加

産業界や医療関係の改善事例発表大会へも積極的に参加し、現在では毎年 1 回開催の「医療の質改善発表大会」において優秀賞の獲得が常連となる迄に、当院の QC サークル活動のレベルは高くなっています。職員が院内の QC サークル活動に真面目に取り組んできた成果であると思われます。

看護部の場合、院外発表は主に中堅看護師が行っています。QC サークルのリーダーを中堅看護師が担っていることが多く、リーダーシップ能力を高めると共に、院外での発表を経験することで自信に繋がっていきます。結果、看護チームの中でも自信を持って力を発揮することができています。

医療を取り巻く環境が目まぐるしいスピードで変化する昨今、看護界では「問題解決力」「コミュニケーション力」が求められる時代になりました。QC サークル活動は業務改善だけでなく、職場内のコミュニケーションツールになっていると痛感しています。特に、年齢・経験年数・卒業学校など多岐に亘っている看護部においては、QC サークル活動を共に行っていく中で新人からベテラン看護師迄が一体となりコミュニケーションを図り、チームワークを育んでいます。当院の新人看護師の 1 年以内離職率が 13 年間 0% 継続しているのも、QC サーク

ル活動を行っていることが一要因であると確信しています。

1995年に発表された「厚生白書」で医療がサービス業に位置づけられることが明示され、以降、医療をサービスと捉える考え方が定着してきました。サービスの質が患者の満足につながるため、質の高いサービスを提供できる人材

は財産だといわれ、人財は組織の経営面でも非常に重要なカギとなります。全職員が「サービス業においては100－1は99ではなく100－1は0である」というスローガンの下に、今後もQCサークル活動を通して患者への医療サービスの向上と共に人材育成に取り組んでいきたいと思っています。



安全な医療を提供するために チーム力を高めよう

福岡市立こども病院 医療安全管理室 吉富 ゆかり
副室長

はじめに

当院は、1980年西日本唯一の小児総合医療施設として開院し、2014年現在の場所、アイランドシティへ移転しました。病床数は239床、26診療科と8つのセンターがあり、小児高度医療、小児救急医療、周産期医療を3つの柱としています。「こどものいのちと健康をまもる～すべてのこどもと家族の明るい未来を願って～」という病院理念のもと職員一同、自分たちに与えられた任務を日々頑張っています。

私は、今年度より医療安全管理者という重要な任務をいただきました。安全管理者としてまだまだ未熟ですが、この9か月で色々なことを学ぶことができ課題が見えてきました。その中でも重要と考えていることについて以下に述べたいと思います。

ピンチをチャンスへ導いてくれるインシデント報告

1999年のいくつかの重大医療事故（横浜市立大学病院の患者取り違い、都立広尾病院の消

毒薬点滴など）がきっかけとなり、「医療事故防止」は日本の医療政策の課題としてクローズアップされるようになりました。1990年代までは、“医療事故はあってはならない、個人の注意で防ぐことができる”と考えられていましたが、2000年以降は、“医療事故は起こりうる、チームや組織全体の在り方を改善しなければ事故は防止できない”と考えられるようになりました。また「人は誰でも間違える。しかし、間違いを防ぐことができる」「一度起きたことはまた起きる。私が起こしたことは他の人も起こす」と言われています。

そこで、再発防止・重大事象を発生させないために活用できるのが『インシデント報告』です。しかし、インシデント報告書は誰でも書きたくないと思うものです。その要因の一つは、インシデント報告書が、個人の失敗を報告する始末書のように誤解されているからです。そのため安全管理者は、事象を振り返り報告書を記入してくれた職員の勇気に感謝し、報告書は「ピンチをチャンスに変えてくれる宝」と認識し、大切に活用するために事実背景を調査し、問題

点を見極め「人は間違える」ことを前提にルールやシステムを整え、対策を現場と共に考え、再発防止に努めなければならないと考えます。また報告してくれたことが事故再発防止に役に立っていることを伝えていくことも安全管理者の役割の一つだと思っています。

看護師は最終実施者 になることが多い

院内のインシデントを積極的に報告している職種はどの病院でも看護部門のようです。これは、看護師の職員数に占める割合が圧倒的に高いこと、多くの医療行為の最終実施者になることが多いことによると思います。

当院の看護部では、昨年度から全部署にパートナーシップ・ナーシング・システム（Partnership Nursing System：PNS）を導入しました。PNSは、2人の看護師が安全で質の高い看護を共に提供することを目的に、良きパートナーとして対等な立場で互いの特性を活かし、相互に補完し協力し合い、その成果と責任を共有する看護体制です。現在、その体制の基盤となるPNSマインド（自立・自助の心、与える心、複眼の心）が少しずつ育ってきているように感じますが、看護師間でのコミュニケーション不足や思い込み・勘違いによるインシデント発生は後を絶ちません。また、看護師間だけでなく、他職種間でもコミュニケーション不足によるインシデントは発生します。とくに医師とのコミュニケーション不足は重大なインシデントを招くことになります。



こども病院前景

全職員で作り上げる安全風土

病院の安全風土は職員全員で作り上げるものだと思います。1人1人が“こどもファースト”を意識し、安全・安心の医療を提供するために、当院は次年度からTeam STEPPS（Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety）を導入する予定です。

Team STEPPSは、元々アメリカの軍隊で開発されたシステムで、良好なチームワークを形成することによって医療の安全推進と質の向上に成果を上げるためのチーム戦略（行動ツール）です。患者および保護者もチームメンバーの1人として考えられ、いくつものコミュニケーション手法を使って協働していくものです。例えば、緊急を要する患者の情報を効果的に相手に伝える情報交換のコミュニケーションのテクニックと言われている「SBAR」や情報の矛盾に対して意見を2回主張する「2回チャレンジルール」などの手法があります。それらの手法を医療者間で共通認識していれば互いに安全に対する意識が高まり、チーム力が向上すると考えられています。とくに、医師の協力は必須です。是非ともTeam STEPPSを病院全体に根付かせていきたいと思っています。

今までの手法と異なる新しいことへのチャレンジには大きなエネルギーが必要です。また、全職員の協力が不可欠になってきます。こども病院の理念に向けて全職員が「こどもの明るい未来のために」安全な医療を提供することができるよう、こども病院全体のチーム力を高めていけることを願っています。



こども病院の外来 コンセプトは「森」
柱はおもちゃの積み木をイメージしています

イヌ、犬、戌、そして江戸歌留多

学校法人原学園看護専門学校 学校長 朔 元 則
国立病院機構九州医療センター 名誉院長

イヌ

今年の干支は戌戌なので、2018年のLetterもイヌ（学名 *Canis lupus familiaris*）の話題から始めさせていただく。

動物学的分類では、イヌは哺乳綱、イヌ科、イヌ属に分類される。イヌ科の動物には私達が通常犬と呼称しているイエイヌの他に、オオカミ、コヨーテ、ジャッカル、キツネ、タヌキなど多様な動物が含まれるようである。

分子系統学的研究では、イエイヌは1万5千年以上前にオオカミから分化したと推定されているようであるが、イエイヌとオオカミは交雑可能なので、イエイヌはオオカミの亜種とする考えが一般的なようである。

犬種については国際畜犬連盟（Federation Cynologique Internationale）が331種の犬種を公認しているが、イヌは古くから品種改良が繰り返されて人工的な種が多数作られているので、非公認のものまで含めれば約700～800種という多数の犬種が存在すると考えられている。その中には自然界では繁殖不可能な種、たとえば出産時には帝王切開が不要不可欠となるブルドックやチワワのような犬種も存在するようである。

犬と人間社会

familiaris という学名が示すように、太古の昔から人間社会と最も深い関わりを持つ動物が犬である。仔犬（イヌかオオカミか判然としないということであるが…）を抱いた1万2000年前の人の遺体がイスラエルで発見されているし、古代メソポタミア、古代エジプト、古代ギリシャの彫刻や絵画には犬が多数登場していることは皆様よく

御存知のことである。

日本でも前期縄文時代の遺跡から犬の骨が出土しており、その一部は埋葬された状態であったという。しかし出土した犬の骨の多数は散乱した状態で発見され解体痕も見られることから、縄文時代は飼い犬として飼われた犬と食用に供された犬（こちらが多数）の2種類が存在していたのではないかと推測されている。

犬死に

私は小学校（正しくは国民学校）1年生の夏に終戦を迎えた。ということは日本国民が食べ物に困窮していた時代に少年期を過ごしたということである。従って私の少年時代、ペットとして犬を飼育している家など皆無であった。現在の日本では、5世帯当たり1世帯がペットとして犬、猫を飼育しているということであるから、昭和20年代の日本を考えるとまさに隔世の感がある。

私が最初に犬と関わりを持ち始めたのは1965年（昭和40年）7月のことである。残念ながらペットとして犬を飼育し始めたということではない。

私は1963年（昭和38年）九大医学部を卒業し、1年間のインターン生活の後、九大第二外科教室に入局した。そして1年3ヶ月間の初期研修が終了したのち門脈圧亢進症グループに配属され、学位論文作成のための研究生活に入るようになったのである。所謂無給医局員という身分（臨床大学院学生という肩書きは付いているが）なので、週3日間大学で動物実験に従事、あとの3日間は関連病院で臨床医として働き、そこから生活費を頂戴するという生活である。

私は門脈血行動態を人為的に変動させる研究（門脈系に動脈血を流入させて肝臓の変化等を観

察する所謂門脈動脈化)に取り組んだので、実験動物には犬を使用した。これが私が犬と密接に係る初体験となったのである。

当時は野犬狩りの業者から野犬を1匹350円で買入れ実験に供していた。業者は3～4週に1度捕獲した野犬を売りに来るので、研究に従事する医局員全員(血管グループと門亢症グループ)でこれを一つの大きな檻の中で飼育していた。従って実験の度に自分で檻の中から犬を引きずり出して、手術台に乗せなければならない。文章にすれば簡単だが、犬の捕獲などに係ったことのない素人にとってはこれは大変な難事業であった。実験開始まで約1時間、噛みつかれないよう注意しながらの難行苦行でこれが一番の苦勞の種であった。実験動物としてラットやマウスを使用していた他の研究室の仲間が羨ましくて仕方がなかったことを今でも鮮明に思い出す。

実験はそれなりに順調に進行していたのであるが、研究を開始して間もなくの頃から学園紛争が勃発した。これが次第にエスカレートして行き、1967年(昭和42年)6月19日過激派学生によって研究室が突然封鎖されてしまったのである。

封鎖から約2ヶ月後の8月4日に国会で大学管理法が可決され、学園紛争は次第に沈静化し9月には研究棟の封鎖も解除された。しかし大変残念なことに、この3ヶ月間の封鎖の間に、私の研究データ(実験の詳細を記録した実験ノート、作成していた肝臓組織のプレパラート、写真等々)の全てが過激派学生によって廃棄されてしまっていたのである。彼等にとっては、学位取得のための研究に従事する者など体制派そのものであった。

私は実験データのすべてを研究室内に保管し、バックアップデータなどは全く取っていなかったもので、こうなってしまうともうどうしようもない。2年間の努力は全く無駄になってしまった。

実験ノートがないので、2年間の間に何匹の犬を犠牲にしたのかも今は定かでない。多分総計50匹以上には達していたであろう。何の役にも立たない死を「犬死に」と表現するが、私の実験に供された犬たちはまさに「犬死に」そのものであった。

1968年(昭和43年)に入ると、大学紛争はほぼ完全に終結。それまで私は臨床大学院学生という身分であったのだが、単位取得後終了(学位論文が出来上がっていないのだから卒業ではない)ということになり、3月1日から臨床研究医という身分(有給)で大学での臨床に従事することになった。

大学勤務医である以上、学位取得は義務のような感じである。私は病棟に保管されていて散逸を免れた術中門脈造影像を解析し、井口潔教授が開発されたシャント手術の優位性を門脈造影像の面から支持する内容の論文を執筆することで、何とか医学博士の学位だけは取得することが出来た。

犬も歩けば

犬は人間社会との関わりが最も深い動物であるだけに、犬が登場する諺、故事成語はそれこそ枚挙にいとまがない。その中でも最もよく知られているのが、「犬も歩けば棒に当たる」というイロハ歌留多の冒頭の一句であろう。

現在ではこの諺の意味は「あてもなくブラブラ歩き廻っているうちに、思いがけない幸運に巡り会うことがある」と解釈されることが一般的である。しかしこの諺のルーツを探てみると、どうもそれとは正反対の意味になるようである。

この諺が生まれた江戸時代、街の辻々には自衛のために夜間は六尺棒を持った中間が立番していた。彼等は辻番と呼ばれ、江戸の町全体では899ヶ所の辻番所があったようである。辻番は怪しい者が通りかかると誰何し、逃げ出した者には六尺棒を投げて足に絡ませて捕らえていたそうである。「犬も歩けば」の諺は「犬でもその例外ではなく、何の目的もなくブラブラ歩いていたら棒を投げつけられるぞ」という警句として生まれたもののようである(稲垣史生著『すぐその江戸』大和書房 1987年刊)。

平成最後の年となる2018年は戌年。ブラブラ歩き廻るのではなく、目的意識をはっきりと掲げて堅実に行動することを心掛け、棒に当たったり、犬死にしたりすることのないような1年にしたいと思っている。

鐘・鐘・鐘

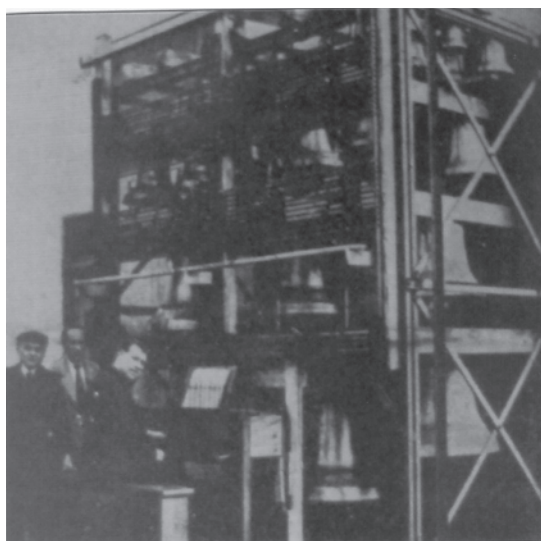
元 医療法人誠十字病院 安田 宏一
平衡神経科 医師

このごろ、お寺の鐘の音を、久しく聞いていない。童謡に「夕やけこやけで日が暮れて、山のお寺の鐘がなる」という歌詞があった。わたしは、夕方になると鐘の音がするものだと、思っていた。寺の鐘はごーんについて、その余韻を味わうものである。与謝蕪村は「涼しさや鐘をはなるるかねの声」と詠んでいる。

ところが西洋の鐘は、まったく異なっている。パガニーニやリストの「ラ・カンパネラ」を聴くと、こんな多彩な鐘の音があるのだろうか、信じられなかった。しかし思い出してみると、映画の「ノートルダムのせむし」で、鐘つき男のカジモドが、沢山の鐘に乗り移って、それらを鳴らしていた。音が多彩であることは、いろいろの大きさの鐘が、組み合わせられていたのである。一応はそれで納得した。しかしカジモドは、でたらめに鐘を選んで鳴らしていた。あれで「ラ・カンパ

ネラ」のようなメロディが、奏でられるものだろうか。

ある日テレビ放送を見ていて、その問題は解決した。テレビの取材班が、ベルギーを旅行している場面で、今から教会の鐘が鳴ると言う。カメラが案内の人について鐘楼に昇って行くと、せまい部屋にパイプオルガンの鍵盤のようなものがある。その鍵はオルガンやピアノにくらべて、はるかに大きい。その鍵盤をこぶしで叩くことにより、思いどおりの鐘の音が出せると言うのである。演奏者と鐘は、壁で隔てられている。カリヨンと言う。十六世紀にベルギーで発明され、次第に改良されたものである。これには、たいへん感心した。これならカジモドのように、大きな鐘の音で耳が聞こえなくなる心配はないであろう。



カリヨン

人体旅行記 睪丸（その一）

国立病院機構九州医療センター 吉住 秀之
医療情報管理センター 部長

男性の股間に不用心にぶら下がっている¹⁾ 男性ホルモンであるテストステロンをつくる工場です。

英語の testis, testicle やドイツ語の Hoden に相当する日本語としては、1930 年代から「精巣」という用語が生物学分野で広く使用されていましたが、医学分野では少しそれに遅れ 1953 年に日本解剖学会が正式に採用しています。臨床医学では「睪丸」という用語が好まれており、「精巣」の正式採用後も「睪丸」という用語が使用され続けていました。この「睪丸」という用語もよく見ると、上の部分があみがしらになっている「えきがん睪丸」という用語も混在して使用されていた経緯があります。杉田玄白が著した有名な『解体新書』（1774 年）には、「睪丸」が使用されており、単なる誤記で済まされるものでもないようです。

和漢三才図会には「陰囊ノ中二玉有り（中略）男子ノ命根也」と簡潔にして正鵠を射た定義が記載されています。語源的にみると「睪」というのは、同じ者が間隔をおいて連なっている状態を指しており²⁾、玉が並んで繋がっているように見えるのを表現している字であると解されます。他の字を例にあげると、宿舎が経路上に繋がっているものが「驛」であり、水溜まりが水系上に繋がっているものが「澤」です。二つの精巣は連結してはいないのですが、外見上はそう見えるのでこの

字が使われたのでしょう。

精巣はテストステロンを産生して、テストステロンは精巣自体を大きくさせる作用があります。思春期には精巣容積が急に大きくなるためか、精巣が捻れて一大事になる（精巣捻転症）ことがあります³⁾。思春期に男の子はひねくれやすいのですが、精巣の方もひねくれる危険があるので注意が必要です。

- 1) いわゆる急所が、特にヒトの場合直立歩行をするため四足歩行する動物よりもさらに敵に目立ちやすくなっているのは、防衛上の大きな問題です。加えて犬や猫は精巣挙筋が発達しているため、いざというときには腹腔内に精巣を格納して一戦を交えることが可能ですが、ヒトの場合随意筋でありながら貧弱な横紋筋であるため、ここを突かれると屈強な男性でもひとたまりもありません。
- 2) 藤堂明保（1976）『漢字語源辞典』学燈社。
- 3) 精巣捻転症は、冬に多いという報告（Shukla RB, et al.Br Med J, 285:1459-1460,1982）があります。寒冷による精巣挙筋の収縮のためかといわれていますが、そこまで寒くて縮み上がる可能性があるのでしょうか。

●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

平成 29 年 12 月福岡県私設病院協会の動き

◎ 看護部長会運営委員会

日 時 12月1日（金）午後3時

場 所 協会会議室

議 題

1. 協議事項

- (1) 人材育成と職場環境について
- (2) 情報交換について
- (3) その他

2. 報告事項

- (1) 前回議事録について
- (2) 私設病院協会研修会について
- (3) 私設病院協会10～11月の動き

◎ 広報委員会

日 時 12月12日（火）午後3時45分

場 所 協会事務室

議 題

1. 福私病ニュースの編集について
2. その他

◎ 理 事 会

日 時 12月12日（火）午後4時

場 所 協会会議室

議 題

1. 会長あいさつ

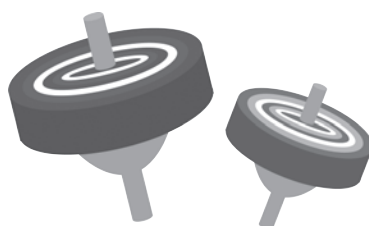
2. 協議事項

- (1) 会員異動について
- (2) 研修会について
- (3) 平成29年度第4回福岡県医療審議会医療計画部会について
- (4) 地域医療構想について
 - ① 平成29年度第2回調整会議における議論の概要について
 - ② その他
 - ・「第9回地域医療構想に関するワーキンググループ」の全日病報告書について
- (5) 厚生局適時調査の最近の動向について
- (6) 「国民医療を守るための福岡総決起大会」について

(7) その他

3. 報告事項

- (1) 私設病院協会
- (2) 看護学校
- (3) 医療関連協業組合
- (4) 全日病本部・全日病福岡
- (5) その他
 - ・平成29年度第2回福岡県医療費適正化計画推進委員会について



診察室の中で年をとる

医療法人慈光会
若久病院院長

野見山 晃

年をとるなど、まだまだおこがましいと、諸先輩に叱られそうな気もするが、実感なので仕方がない。若い頃は年をとることに多少の期待と憧れを持っていた。先輩達を見ていると淡々と飄々として臨床を営んでいるように見えたからである。ところが幾ら年を重ねても飄々と淡々という風にはいかない。いちいち腹を立て、不安に苛まれ、傷つき、一喜一憂して1日が過ぎてゆく。一喜一憂しないで患者さんを診てゆくのが良いのだと教えられたはずなのに、がっかりである。しかも、嬉しいことは嬉しいし辛いことは辛いことから仕方がないと開き直っている節がある。益々短気になるし、くどくなるし、最悪の経験ばかりを思い出し新患さんが恐くなる、碌でもない。患者さんとのことで辛いことがあると眠れなくなるし、人を恨みもする。生きていることは碌でもないが捨てたものでもないというのが人に伝えられる心境なのかとも思ったが、まだまだ本当のところは分からないので困っている。

今より随分若い頃、患者さんが診察室から出た後にカルテに内容を記載していた。診察中に書くことをしなかった。精神療法をしている患者さんについては特にそうで、1日の仕事が終わった夕方以降に考え考え記していた。ある職場では、1日仕事が終わってやれやれと同僚達とビールを飲みながら、患者さんとの診察を思い出しながら吟味しながらゆっくりカルテを書いていた。楽しかった。ところが、いつの頃からか、それが出来なくなった。診察が終わってしばらくすると細かいことは忘れてしまう。或る日、長く精神療

法を続けている患者さんに、「申し訳ないが、今日からあなたの話を聞きながらカルテを書かせてくださいね」と頼んで面接を始めた。面接が終わると患者さんが悲しそうな顔をして、「先生がちゃんと私の話を聞いているかどうか不安だった」と語った。カルテに記すことにこだわりを持ちながら、いくら熱意を注ぎ工夫をこらしても、到底患者さんの真実を記載することは出来ないことに気がついて、無意味だからとストライキを起こしたことがある。つまり、1行にも満たないカルテを作り続けた。しかしこれは良くなかった。到底真実には届かないことを知りつつも患者さんを記載し続けることは、精神科臨床上の意味と力が潜んでいたのである。無駄は必要である。

今より随分若い頃、患者さんに、「先生は若いから分かんやろう」と言われて、侮られたと感じてムッとしていた。それでも分かんことは分かんかと威張っていた。分かんことを分からないと率直に言えることは大切であるが、威張って言うのは変である。今から思えば可笑しい。

今より若い頃、患者さんに、「先生は若く見えるね」と言われて満更でもない気持ちでいたが、もうその時のヒット曲や若い人が好む曲をあまり知らなかった。恥ずかしかった。精神科医になって2年目に、亡くなった私の師匠の一人から、「精神科医は今どんな歌が、曲が流行っているのか知っていた方がよいよ、ベストテンくらいは観た方がいいよ」と教えられたことを思い出す。その時テレビを買った。特に思春期の患者さんとの面

接では貴重な窓となった。先生の言った様々のことは今でも正しいと思うし懐かしい。先生は優れた精神科医であった。

今より多少若い頃、「先生くらいの年になると好きな音楽は演歌ですかねえ」と言われてムッとした。「クラシックですか」と言われた時には、それほどムッとはしなかったが……。若い人には、フォークやニューミュージックも懐メロなんだ、演歌なんだと知ったが、しっくりこない。

今よりほんの少し若い頃、患者さんから、「身体に気をつけてくださいね」とか、「お大事に」とか言われることが増えてきた。診察室を出る際にドアを開けてくれる患者さんまでいる始末で案配が悪い。言葉になりにくい変な困った感じであった。そう言えば初めてバスで席を譲られた感じと似ていた。ひどい患者さんになると、「先生、ボケけないで

くださいね、あと12年は頑張ってもらわないと」などと言う。ずっと死にたいという思いを持ち続けていたその患者さん自身が、あと12年は生きようと思っているのを私は感じる事が出来て、腹も立たない。まして毛頭叱らない。どこかとても嬉しい。私もあと12年はこの診察室で無事で生きのびようと思う。だけど私がちょっと勘違いすると、「先生やばいよ」と言うのは止めて欲しいなあ……。髪の毛が薄くなったのを指摘するのは特に止めて欲しいなあ……。

今の私としては、話がくどくなるのも年をとった証拠のような気がして、ここで筆を止めます。けれど側で家内が笑っている。「あなたは若い頃から話がくどかったよ」と言いながら。

本年が良い年でありますように願っています。今年もよろしくお願い申し上げます。

おもいやりの心でサポートします

県内精神科病院の寝具及び下着類の洗濯・貸与・販売・補修業務一切
他にグループ保険・病院賠償責任保険等の各種保険

福岡県精神科病院協同組合

理事長 富松 愈

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 2F
TEL092-521-0690/FAX092-524-4632

九州一円の医療機関経営をサポートする
福岡県精神科病院協同組合100%出資会社

有限会社 DMS (ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 3F
TEL092-525-7666・7667/FAX092-525-7668

理 事 会

◎ 第 50 回 理事会 報告

日 時 平成 29 年 12 月 5 日 (火) 16:00 ~ 16:50

場 所 ホテルセントラーザ博多 千鳥の間 4F
(福岡市博多区博多駅中央街 4 - 23)

出席者 (敬称略)

会 長 石橋

副会長 井上、尾辻、志波、竹中

理 事 平専務理事、上野総務理事、
澄井財務理事、壁村企画理事、飯田、
一宮、江頭、大塚、小柳、津留、寺坂、
深堀、増本、村中、吉田、吉村
計 21 名 (※理事総数 25 名)

監 事 津田、原

議 長 岡嶋

副議長 梅野

顧 問 今泉、河野

I 行政等からの通知文書

上野総務理事が、以下の文書について説明しました。

福岡県環境部長 (廃棄物対策課) 発、「PCB 廃棄物の早期適正処理推進にかかる協力依頼について (依頼)」 (会報に同封し、全会員に送付済み)

II 報告事項

1 公益目的事業関係

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 平成 29 年度第 1 回リハビリテーション
研修会

小柳担当理事が報告されました。

日 時 平成 29 年 10 月 28 日 (土) 13:30 ~

場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール

テーマ “食べる” をチームで支える

～これからのチャレンジ～

基調講演 「リハビリテーションと栄養をつなぐ
口腔機能 一多職種による食支援」
社会医療法人原土井病院

歯科部長 摂食栄養支援部長

岩佐康行

シンポジウム 「“食べる” を支えていくために、私たち専門職はこう関わる」

① 「歯科衛生士：口腔衛生の面から」

一般社団法人福岡県歯科衛生士会
川邊直子

② 「言語聴覚士：嚥下機能の面から」

戸畑共立病院リハビリテーション科
主任 大森政美

③ 「作業療法士：行動の面から」

麻生リハビリ大学校
作業療法学科 主任 竹中祐二

④ 「理学療法士：姿勢の面から」

麻生リハビリ大学校
理学療法学科 専任教員 松崎哲治

⑤ 「栄養士：栄養の面から」

国立病院機構福岡東医療センター
栄養科 室長 中山美帆

⑥ 「看護師：看護の面から」

誠愛リハビリテーション病院
回復期リハビリ病棟 師長 戸嶋早織

⑦ 「介護福祉士：介護の面から」

アップルハート博多相談指導
ケアセンター 管理者 安河内広幸

参加者は、258 名。

イ 臨床検査委員会

壁村担当理事が報告されました。

日 時 平成 29 年 11 月 9 日 (木) 17:00 ~

場 所 JR 博多シティ 10F 小会議室 H

議 題

1. 委員の交代について

渡部 高貴氏 (福岡市立こども病院)

→ 森健一氏 (白十字病院)

臨床検査技術部長)

2. 平成 28 年度臨床検査研修会の反省

3. 平成 29 年度臨床検査研修会の開催について

委員の交代については、理事会の承認を受けた。

ウ 第2回リハビリテーション委員会

小柳担当理事が報告されました。

日 時 平成29年11月16日(木) 14:30～

場 所 JR博多シティ10F 小会議室J

議 題

1. 平成29年度第1回リハビリテーション研修会報告
2. 第2回リハビリテーション研修会の開催について

エ 企画委員会

竹中副会長から、平成30年度の第12回県民公開医療シンポジウムは、深堀理事に実行委員長をお願いし、テーマは「21世紀のメンタルヘルス」とすることが報告されました。その後、深堀理事から、テーマについて説明がありました。

日 時 平成29年12月5日(火) 15:00～

場 所 ホテルセントラータ博多

議 題

1. 平成30年度県民医療公開シンポジウムについて
2. その他

【開催予定】

ア 病院研修会

上野委員長が説明されました。

日 時 平成30年2月5日(月) 18:00～

場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール

テーマ 災害医療研修会

～福岡県で災害が発生したら～

講 演

「福岡県で災害が発生したら」

救急救命九州研修所 教授 郡山一明

「福岡県医師会災害医療計画」

福岡県医師会 理事 藤野隆之

シンポジウム

イ 第56回診療情報管理研究研修会

増本担当理事が説明されました。

日 時 平成30年2月22日(木) 10:00～

場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール

テーマ クリティカルパス

講 演

- 1) 「病名とICD2013の対応について(仮)」
川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 准教授 阿南 誠
- 2) 「村中先生の想い(仮)」
国立病院機構九州医療センター
院長 村中 光
- 3) 「クリティカルパスと診療情報管理士について(仮)」
名古屋大学医学部附属病院
メディカルITセンター長 白鳥義宗
シンポジウム
「クリティカルパスの取り組みについて」

ウ 臨床検査研修会

壁村担当理事が説明されました。

日 時 平成30年3月10日(土) 13:00～

場 所 浜の町病院 講堂

テーマ 医療変革のとき、臨床検査技師が出来ること

エ 第2回リハビリテーション研修会

小柳担当理事が説明されました。

日 時 平成30年3月24日(土) 13:30～

場 所 ナースプラザ福岡 研修ホール

テーマ 診療報酬、介護報酬の同時改定について

2 収益事業等、法人事務等関係

(1) 各種委員会、研究会関係

【開催結果】

ア 経営管理委員会(津留担当理事)

津留担当理事が報告されました。

日 時 平成29年12月4日(月) 15:00～

場 所 福岡県医師会館 研修室4

議 題

1. 平成29年度第1回経営管理研究会報告
2. 平成29年度第2回経営管理研究会の開催について

イ ほすびたる編集委員会

岡嶋委員長が報告されました。

日 時 平成 29 年 12 月 5 日 (火) 15 : 45 ~

場 所 ホテルセントラーザ博多

【開催予定】

ア 第 2 回経営管理研究会

津留担当理事が説明されました。

日 時 平成 30 年 2 月 15 日 (木) 15 : 00 ~

場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール

内 容 「2018 年診療報酬、介護報酬ダブル改訂に備えて (仮)」
社会医療法人雪の聖母会
聖マリア病院 院長 島 弘志

イ 医療事務研究会

大塚担当理事が説明されました。

日 時 平成 30 年 3 月 28 日 (水)

場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール

内 容 「2018 年診療報酬改定内容と病床機能別対応策」
(株) M&C パートナーコンサルティング
取締役 酒井麻由美

(2) 「第 49 回理事会」の議事録について

平専務理事が説明されました。

理事会の承認を受けました。

(3) 9、10 月分収支報告について

澄井財務理事が説明されました。

理事会の承認を受けました。

(4) 会員の変更

平専務理事から、社会保険稲築病院の病院管理者の変更に伴い、定村伸吾院長が入会されたことが報告されました。

Ⅲ 協議事項

(1) 入会申込み

平専務理事が、香椎丘リハビリテーション病院

(院長 佐々木靖氏) から、入会申し込みが提出されていることを説明されました。

採決の結果、入会が承認されました。

Ⅳ その他

1 行事予定

平専務理事が、説明されました。

ア 参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会

日 時 平成 29 年 12 月 5 日 (火) 17 : 00 ~

場 所 ホテルセントラーザ博多

(17 : 50 ~ 懇親会)

イ ほすびたる編集委員会・理事会

日 時 平成 30 年 1 月 23 日 (火)

場 所 福岡県医師会館 5F 研修室 1A+B

① 15 : 45 ~ ほすびたる編集委員会

② 16 : 00 ~ 理事会

ウ 四県病院協会連絡協議会

日 時 平成 30 年 1 月 26 日 (金) 15 : 00 ~

(予定)

場 所 山口県

エ ほすびたる編集委員会・理事会

日 時 平成 30 年 2 月 28 日 (水)

場 所 福岡県医師会館 6F 研修室 3

① 15 : 45 ~ ほすびたる編集委員会

② 16 : 00 ~ 理事会

オ ほすびたる編集委員会・理事会・臨時会員総会

日 時 平成 30 年 3 月 27 日 (火)

場 所 未 定

① 15 : 45 ~ ほすびたる編集委員会

② 16 : 00 ~ 理事会

③ 17 : 00 ~ 臨時会員総会

2 最近の医療情勢について

小柳理事から、将来難民が来ることを想定した対策を考える必要があるとの意見が出され、多くの役員から意見が出されました。

あけまして
おめでとうございます

本年もよろしくお願い申し上げます

2018（平成 30）年



*掲載は受付順にさせていただきました。

九州大学病院

病院長 石橋 達朗

〒 812-8582

福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号

電話 (092)641-1151 FAX (092)642-5008

URL <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>

久留米大学病院

病院長 八木 実

〒 830-0011

久留米市旭町 67 番地

電話 (0942)35-3311 (代) FAX (0942)32-6278

URL <http://www.hosp.kurume-u.ac.jp>

福岡大学病院

病院長 井上 亨

〒 814-0180

福岡市城南区七隈 7 丁目 45 番 1 号

電話 (092)801-1011 FAX (092)862-8200

地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市民病院

院長 竹中 賢治

〒 812-0046

福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号

電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900

E-mail: shiminbyoin@fcho.jp

URL <http://www.fcho.jp/shiminhp>

医療法人
原 三 信 病 院

理事長 平 祐 二
院 長

〒 812-0033
福岡市博多区大博町 1 - 8
電 話 (092)291-3434 FAX (092)291-3424
URL <http://www.harasanshin.or.jp>

医療法人社団桜珠会
可 也 病 院

理事長 栗 田 輝 久
院 長

〒 819-1314
糸島市志摩師吉 1200 番地
電 話 (092)327-0131 FAX (092)327-5532
E-mail:kaya03@kayahospital.com
URL <https://kayahospital.com>

医療法人社団福光会
福 田 眼 科 病 院

理事長 福 田 量 至
院 長 江 島 哲 至

〒 814-0013
福岡市早良区藤崎 1-24-1
電 話 (092)841-2345 FAX (092)841-2649
E-mail:fukudaganka@nifty.com

 社会医療法人
製鉄記念八幡病院

理事長 土 橋 卓 也
院 長

〒 805-8508
北九州市八幡東区春の町 1 丁目 1 番 1 号
電 話 (093)672-3176 FAX (093)671-9605
URL <http://www.ns.yawata-mhp.or.jp>

医療法人
つ く し 会 病 院

理事長 中 村 奎 吾
院 長 脇 坂 愛 次 郎

〒 816-0902
大野城市乙金 3 丁目 18 番 20 号
電 話 (092)503-2261 FAX (092)503-2474
E-mail:general-tsukushikai@awa.bbiq.jp
URL <http://tsukushi-kai.com/>

 日本医療機能評価機構認定病院
救急病院指定自立支援医療機関（更生医療）

医療法人シーエムエス
杉循環器科内科病院

理事長 杉 健 三
院 長

〒 837-0916
福岡県大牟田市大字田隈 950 - 1
電 話 (0944)56-1119 FAX (0944)56-2077



日本医療機能評価機構認定病院
社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
済生会飯塚嘉穂病院

院長 **迫 康 博**

〒 820-0076
福岡県飯塚市太郎丸 265
電話 (0948) 22-3740 FAX (0948) 29-1987
URL <http://iizuka-kaho.jp/>

医療法人ユーアイ
西 野 病 院

理事長 **西 野 豊 彦**

〒 820-0206
福岡県嘉麻市鴨生 532 番地
電話 (0948) 42-1114 FAX (0948) 42-4790

独立行政法人国立病院機構
九州がんセンター

院長 **藤 也 寸 志**

〒 811-1395
福岡市南区野多目 3 丁目 1 番 1 号
電話 (092) 541-3231 FAX (092) 551-4585
URL <http://www.ia-nkcc.jp/>

医療法人社団久英会
高良台リハビリテーション病院

理事長
院長 **中 尾 一 久**

〒 830-0054
福岡県久留米市藤光町 965 - 2
電話 (0942) 51-3838 FAX (0942) 51-3535
E-mail: kouradai-web@kyueikai.jp
URL <http://www.kyueikai.jp/rehabili/>



医療法人福岡桜十字
桜 十 字 福 岡 病 院

理事長
院長 **今 村 博 孝**

〒 810-0004
福岡市中央区渡辺通 3 - 5 - 11
電話 (092) 791-1100 FAX (092) 791-1105
E-mail: fukuoka.info@sakurajyuji.jp
URL <http://www.sj-fukuoka.or.jp>

独立行政法人国立病院機構
福岡東医療センター

院長 **江 崎 卓 弘**

〒 811-3195
福岡県古賀市千鳥 1 丁目 1 番 1 号
電話 (092) 943-2331 FAX (092) 943-8775
URL <http://www.fe-med.jp/>

福岡市医師会

成人病センター

院長 壁村 哲平

〒 814-8522

福岡市早良区祖原 15 - 7

電話 (092)831-1211 FAX (092)845-7606

E-mail:seijin@city.fukuoka.med.or.jp

URL <http://www.fma-hp.or.jp/>

独立行政法人地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院

院長 野田 晏宏

〒 822-0001

福岡県直方市大字感田 523 番地 5

電話 (0949)26-2311 FAX (0949)26-6748

E-mail:main@fukuoka.jcho.go.jp



(財)日本医療機能評価機構認定
臨床研修指定病院

原土井病院

理事長 原 寛
院長 小柳 左門

〒 813-8588

福岡市東区青葉 6 - 40 - 8

電話 (092)691-3881 FAX (092)691-1059

E-mail:info@haradoi-hospital.com

URL <http://www.haradoi-hospital.com>

国家公務員共済組合連合会 新小倉病院

院長 渋谷 恒文

〒 803-8505

北九州市小倉北区金田 1 丁目 3 番 1 号

電話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553

E-mail:kk-shinkokura@shin-kokura.gr.jp

URL <http://www.shin-kokura.gr.jp>

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院

院長 一宮 仁

〒 810-8539

福岡市中央区長浜 3 丁目 3 番 1 号

電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262

E-mail:info@hamanomachi.jp

URL <http://www.hamanomachi.jp>

早良病院

院長 梅野 守男

〒 819-0002

福岡市西区姪の浜 2 丁目 2 番 50 号

電話 (092)881-0536 FAX (092)883-8761

URL <http://www.sawara-hp.jp/>



特定医療法人財団博愛会
博 愛 会 病 院

院 長 三 澤 正

〒 810-0034
福岡市中央区笹丘 1-28-25
電 話 (092)741-2626 FAX (092)741-2627
E-mail:info@hakuaiikai.or.jp
URL <http://www.hakuaiikai.or.jp>

糸 島 医 師 会 病 院

院 長 富 田 昌 良

〒 817-1112
福岡県糸島市浦志 532 番地 1
電 話 (092)322-3631 FAX (092)322-3774

医療法人社団江頭会
さ く ら 病 院

理事長 江 頭 啓 介
院 長

〒 814-0143
福岡市城南區南片江 6 丁目 2 番 32 号
電 話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570
E-mail:info@sakurahp.or.jp
URL <http://www.sakurahp.or.jp/>

一般社団法人福岡県社会保険医療協会
社 会 保 険 田 川 病 院

院 長 田 中 裕 穂

〒 826-0023
福岡県田川市上本町 10-18
電 話 (0947)44-0460 FAX (0947)45-6540
URL <http://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.or.jp/>

宗 像 医 師 会 病 院

院 長 大 塚 毅

〒 811-3431
福岡県宗像市田熊 5 丁目 5 番 3 号
電 話 (0940)37-1188 FAX (0940)37-0016

医療法人社団筑山会
松 岡 病 院

理事長 松 岡 嘉 宣
院 長

〒 821-0012
福岡県嘉麻市上山田 1287
電 話 (0948)52-1105 FAX (0948)52-1926
URL <http://www.chikuzankai.com/>

医療法人社団水光会
宗像水光会総合病院

理事長 **津留 英智**
院長 **田山 慶一郎**

〒 811-3298
福岡県福津市日蔭野 5 丁目 7 番地の 1
電話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981
E-mail:hosp@suikokai.or.jp
URL <http://www.suikokai.or.jp>

地方独立行政法人
筑後市立病院

理事長 院長 **吉田 正**

〒 833-0041
福岡県筑後市大字和泉 917 - 1
電話 (0942)53-7511 FAX (0942)53-7515
URL <http://www.chikugocity-hp.jp>

社会医療法人財団池友会
福岡和白病院

院長 **富永 隆治**

〒 811-0213
福岡市東区和白丘 2 - 2 - 75
電話 (092)608-0001 FAX (092)607-3051
URL <http://www.f-wajirohp.jp/>

社会医療法人喜悦会
那珂川病院

理事長 院長 **下川 敏弘**

〒 811-1345
福岡市南区向新町 2 丁目 17 - 17
電話 (092)565-3531 FAX (092)566-6460
E-mail:mail@nakagawa-hp.com
URL <http://www.nakagawa-hp.com>

医療法人永聖会
松田病院

理事長 院長 **松田 峻一良**

〒 812-0053
福岡市東区箱崎 2 丁目 10 番 2 号
電話 (092)651-0522 FAX (092)651-5793
URL <http://www.matsuda-hospital.jp/>

独立行政法人地域医療機能推進機構
九州病院

院長 **多治見 司**

〒 806-8501
北九州市八幡西区岸の浦 1 丁目 8 番 1 号
電話 (093)641-5111 FAX (093)642-1868

医療法人社団益豊会

今宿病院

理事長 堀元文
院長 深角
副院長 有司

〒 819-0167

福岡市西区今宿 2 丁目 12 番 7 号

電話 (092)806-0070 FAX (092)806-4417

E-mail:info@imajuku-hospital.gr.jp

日本郵政株式会社

福岡逋信病院

院長 津田泰夫
副院長 和田寛也

〒 810-8798

福岡市中央区薬院 2 丁目 6 番 11 号

電話 (092)741-0300 FAX (092)781-2563

URL <http://www.hospital.japanpost.jp/fukuoka>

医療法人永寿会

シーサイド病院

理事長 齋藤秀樹
院長 山本雄正

〒 819-0165

福岡市西区今津 3810 番地

電話 (092)806-7171 FAX (092)806-5021

URL <http://www.seaside-hp.or.jp>

独立行政法人国立病院機構

大牟田病院

院長 川崎雅之

〒 837-0911

福岡県大牟田市大字橘 1044 の 1

電話 (0944)58-1122 FAX (0944)58-6804

URL <https://www.oomuta-h.com/>

一般社団法人福岡県社会保険医療協会 社会保険仲原病院

院長 岡嶋泰一郎

〒 811-2233

福岡県糟屋郡志免町別府北 2 丁目 12 番 1 号

電話 (092)621-2802 FAX (092)623-2247

E-mail:nhp-jimu1@nakabaru-hp.jp

URL <http://www.nakabaru-hp.jp>



日本赤十字社

福岡赤十字病院

院長 寺坂禮治

〒 815-8555

福岡市南区大楠 3 丁目 1 番 1 号

電話 (092)521-1211 FAX (092)522-3066

福岡県立精神医療センター
太 宰 府 病 院

院 長 小 嶋 享 二

〒 818-0125
福岡県太宰府市五条3丁目8番1号
電 話 (092)922-3137 FAX (092)924-4060
E-mail:info@dazaifu-hsp.jp
URL <http://www.dazaifu-hsp.jp>

医療法人博愛会
京 都 病 院
み や こ

理事長 岡 松 秀 一
院 長

〒 824-0811
福岡県京都郡みやこ町勝山箕田 298 番地
電 話 (0930)32-2711 FAX (0930)32-2848
URL <http://www.miyako-hp.or.jp/>



日本医療機能評価機構認定病院
救急告示・開放型 臨床研修病院指定



医療法人
西 福 岡 病 院

理事長 安 藤 文 英
院 長 中 垣 充

〒 819-8555
福岡市西区生の松原3丁目18番8号
電 話 (092)881-1331 FAX (092)881-1333
URL <http://www.nishifukuhp.or.jp>

医療法人済世会
河 野 病 院

理事長 河 野 正 美
院 長 今 泉 暢 登 志

〒 811-2413
福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲 139
電 話 (092)947-0611 FAX (092)947-8598
E-mail:info@kawano-hp.com
URL <http://www.kawano-hp.com>



TAGAWA “地方の医療創生は田川から”

田 川 市 立 病 院

田 川 市 齋 藤 貴 生
病院事業管理者
病 院 長 鴻 江 俊 治

独立行政法人国立病院機構
小 倉 医 療 セ ン タ ー

院 長 澄 井 俊 彦

〒 802-8533
北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号
電 話 (093)921-8881 FAX (093)922-5072
URL <http://www.kokura-hp.jp/>



医療法人徳洲会
福岡徳洲会病院

院長 **海江田 令次**

〒 816-0864
福岡県春日市須玖北4丁目5番地
TEL (092) 573-6622 FAX (092) 573-1733
URL <http://www.f-toku.jp>



医療法人真鶴会

小倉第一病院

腎臓病
糖尿病
足病
フットケア

理事長・院長 **中村 秀敏**

腎臓内科 / 糖尿病内科 / 人工透析内科
内分泌内科 / 循環器内科 / リウマチ科
形成外科

北九州市小倉北区真鶴二丁目5-12
☎:093-582-7730

独立行政法人国立病院機構
九州医療センター

院長 **村 中 光**

〒 810-8563
福岡市中央区地行浜1-8-1
電話 (092) 852-0700 FAX (092) 847-8802
URL <http://www.kyumed.jp>

社会医療法人雪の聖母会

理事長 **井手 義雄**

聖マリア病院

病院長 **島 弘志**

〒 830-8543 福岡県久留米市津福本町 422
電話 (0942) 35-3322 FAX (0942) 34-3115
URL <http://www.st-mary-med.or.jp>

聖マリアヘルスケアセンター

病院長 **井手 睦**

〒 830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5
電話 (0942) 35-5522 FAX (0942) 34-3306
URL <http://www.st-mary-med.or.jp>



救急告示・開放型病院
医療法人八木厚生会
八 木 病 院

理事長
院長 **八 木 博 司**

〒 812-0054
福岡市東区馬出2-21-25
電話 (092) 651-0022 FAX (092) 631-1919
URL <http://www.yagi.or.jp>

一般社団法人

福岡県社会保険医療協会

7つの社会保険病院を中心に
地域に根ざした医療を提供

会 長 **吉 村 恭 幸**

〒 810-0001
福岡市中央区天神3丁目7-31 N天神ビル2階
電話 (092) 741-9120 FAX (092) 751-5950
E-mail: k-yoshimura@iryokyokai.or.jp
URL <http://iryokyokai.or.jp/>

あけましておめでとうございます。2018 年、「ほすびたる」新年号をお届けします。

今月号は、冒頭に小川洋福岡県知事、松田峻一良福岡県医師会長、そして当病院協会の石橋達朗会長より新年のご挨拶と抱負を述べていただきました。また、会員の皆様から、たくさんのお年賀のご挨拶をいただき、ありがとうございます。本年も、引き続き「ほすびたる」をご愛顧いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

さて、今月号の後記、ついにネタ切れになってしまいました。そこで今年は編集委員会と事務局のメンバーからなる野球チーム「ホスピタルズ」を結成し、成年記念野球大会に出場することにしました。相手は「ドッグフーズ」。有名なワンちゃんが集まったチームです。では、プレイボール！

新春の青空が晴れ渡る暖かな日です。実況担当はオカジマです。先攻は「ホスピタルズ」、トップバッターはルーキー、マスモト。「ドッグフーズ」の先発は名犬ラッシー。第1球投げました。時速30キロ！空振り。ワンアウトです（この試合では、1空振りでもアウトになるワンワンルールを採用）。2番、強打者ウエノが全身に闘志をみなぎらせ、バットを振りながら出てきました。あっ、どうしたのでしょうか。突然イシバシ監督が出てきました。どうやらバッター交代のようです。まだ一度も打席に入っていないのに。理解できません。ピンチヒッターはスミイ。1球目、2球目とボール。うまく見送りました。3球目、うまく合わせてセンター前ヒット。続くバッターは3番テッペイ。あっ、1球目がデッドボールになりました。

うずくまるテッペイ。ラッシーは謝るどころかスマホをいじくっています。怒るテッペイ。ナガヌマ主審はラッシーに退場を命じました。代わってピッチャーは忠犬ハチ公。バッターは4番キャプテンのタケナカ。1球目をとらえ左中間を破る2塁打。2塁ランナースミイはホームを狙います。あっ、スミイ、3塁ベースを回ったところで突然ヘッドスライディング。ホームまでは相当の距離があります。滑りきらず、途中でズルズルと止まってしまいました。あえなくアウトです。距離を測り損ねたのでしょうか？不可解です。さて、ランナー2塁、3塁でバッターは5番ベテランのタイラ。タイラ、打ちました。これは大きい、大きい、入るか、入るか？入りました。ホームランです。3塁ランナーのテッペイ、ホームを目指して走っています。デッドボールのあとが痛そうです。走れない、走れない！あっ、信じられないことが起こりました。2塁ランナーのタケナカ、全力疾走でテッペイを追い抜いた。なんということ。3塁主審のヒラノがアウトを宣告しています。3アウト。1回表の攻撃終了です。ここで大雨が降ってきました。風も強くなりました。どうやら1回でコールドゲームのようです。解説のチジワさん、今日のゲームを振り返ってどうですか？

「^{かつ}喝！」。

ほすびたる編集委員一同、今年も「喝」ではなく、「あっぱれ」といわれるように、全員ががんばります。皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

（岡嶋 泰一郎 記）

ほすびたる

第720号

平成30年1月20日発行

発行 ◎ (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号
福岡県メディカルセンタービル 2F
TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313
E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp
URL http://www.f-kenbyou.jp

編集・発行人 ◎ (公社)福岡県病院協会

制作 ◎ (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代3-2-1
麻生ハウス 3F
TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095
E-mail : mail@azusashoin.com

編集主幹…石橋 達朗

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…竹中 賢治

編集委員…平 祐二・上野 道雄

澄井 俊彦・増本 陽秀

壁村 哲平・平野 礼子

平成29年度 病院研修会のご案内

テ ー マ 災害医療研修会 ―福岡県で災害が発生したら―

本年、福岡県は福岡県災害時医療救護マニュアルを改訂し、福岡県医師会は福岡県医師会災害医療プログラム（カテゴリーⅡ）を出講した。事後の議論で、福岡県で災害が起こった際の病院の役割とその情報共有体制が課題として明らかになってきた。病院管理者や幹部と災害、救急の関係者、行政が一堂に会して語り合う機会もなく、震災が発生して混乱や病院の対応に格差を生じたとの話を聞く。そこで、福岡県病院協会は、災害医療の最先端のシンポジストとフロアーの病院関係者、災害関係者との語らいの場を企画しました。

災害医療プログラム（カテゴリーⅡ）を元に、忌憚のない議論で、カテゴリーⅡの中身を振り返り、誤解を排除し、齟齬を是正する。そして、災害医療に携わる仲間として顔見知りになって、共に働く意識の契機になって欲しいと思っています。

開 催 日 平成30年2月5日（月） 受付 17：30～ 開演 18：00～

場 所 九州大学医学部百年講堂「大ホール」
福岡市東区馬出3丁目1-1

参 加 料 1,000円

参加申込
締 切 日 平成30年1月29日（月）

講 演 Ⅰ 「福岡県で災害が発生したら」
救急振興財団救急救命九州研修所 教授

郡山 一明

講 演 Ⅱ 「福岡県医師会災害医療計画」
福岡県医師会 理事

藤野 隆之

シンポジウム 福岡県保健医療介護部 医療指導課長

大群 拓也

福岡赤十字病院 院長

寺坂 禮治

久留米大学 名誉教授

坂本 照夫

救急振興財団救急救命九州研修所 教授

郡山 一明

福岡県医師会 理事

藤野 隆之

座長 公益社団法人福岡県医師会 副会長
公益社団法人福岡県病院協会 理事
国立病院機構福岡東医療センター 名誉院長

上野 道雄

*お問合せは福岡県病院協会事務局（TEL 092-436-2312／E-mail : mail@azusashoin.com）まで
お願いいたします。